

視聴覚教育

NO.303
発行日 16.6.15
発行 岡崎市AVL
編集 現職教育委員会
学習情報部

視聴覚用語

『ネチケット』
ネットワーク・エチケッ
トを一語にまとめた造語。
インターネットを利用する
人が守るべき倫理的な基準
や道徳。他人に迷惑をかけ
ないことが原則である。

情報モラルの継続的な指導を

学習情報部部长 菅沼 国雄

インターネット利用者数の著しい増加によつて、利用者の情報モラルの低下が大きな問題となってきました。長崎県佐世保市の痛ましい事件も、どこでも起こりうる身近な問題ととらえなければなりません。だからといって、「情報化」の流れに逆らって、子どもたちを隔離して、情報機器から離したり利用を抑制したりするのは、これらの問題は解決しません。むしろ、積極的にモラル教育を進めていくことで、子どもたちを守る事ができるのではないかと考えています。

市内の小中学校の子どもたちも、校内LANやインターネットを利用して学習する機会があり、実際にそうした授業実践が効果を上げてきています。また、各家庭においても、子どもたちがインターネットを利用する機会が増えてきています。このような現実を見ると、子どもたちに対する情報モラル教育はいつそうその必要性を増しています。

岡崎市では、平成十二年度以降、情報教育推進委員会が、「インターネット利用ガイドライン

(指導者用)」と「同(児童生徒用)」を作っています。各学校においては、今まで以上にこれを参考に指導を進めていただければと思います。ただ、情報モラルといっても、日常的なモラルの延長線上に他なりません。情報化社会の影の部分への対応として、ネットワーク上の中傷や犯罪などへの対応の仕方はもちろん必要ですが、ポジティブな側面も育てることを心がけたいものです。「何々をしてはいけない」というような対外的なルールを身に付けるだけでなく、ルールの意味を正しく理解し、新たな場面でも正しい行動がとれるような考え方や態度を育てることが求められています。基本は「人と人との間のコミュニケーション」であり、画面の向こうには人がいることを意識した行動をとれるようにしたいものです。

情報に限らず、モラルを守ることがお互いの生活を気持ちよいものにさせることにつながります。子どもたちだけの問題としてとらえるのではなく、私たち大人が自身の問題としてとらえ、子どもたちには継続的に指導していくことが大切です。



「視聴覚教育あれこれ」

(財) 松下教育研究財団の

研究助成・実践研究委嘱

今年度、松下教育研究財団より実践研究助成として2校、実践研究委嘱として4校が指定を受けた。

第30回実践研究助成校

・ 恵田小学校

研究テーマ

「豊かな心をもち、たくましく生きる

恵田っ子の育成

・ Eメールと双方向テレビシステムによる

岡崎聾学校との交流」

・ 竜南中学校

研究テーマ

「竜南中学校学区小中3校交流による、学校

と地域とのコミュニケーションづくりの研究」

「子どもニュース(KWN)プロジェクト」 の実践研究委嘱校

・ 小豆坂小学校

・ 六ツ美北部小学校

・ 竜海中学校

・ 東海中学校

このプロジェクトは、子どもたちがビデオ制作を通じて、想像力やコミュニケーション能力高めるとともに、社会の問題に関心を示してもらうために、アメリカで始まった教育プロジェクトである。日本では、松下教育研究財団が運営し二年目に当る今年度、全国30小中学校が研究委嘱を受けた。岡崎市では、この4校が、実践研究を進める。

「実践報告」

インターネットで百人一首を

岡崎市立細川小学校 岩月淳子

「これなら百人一首を覚えるのが簡単にできるね」とうれしそうに声。

今、クラスの子もたちは百人一首や詩の暗唱に夢中である。毎日の対戦では、番付表をつくり横綱を目指し奮闘している。「もっと覚えたい」「もっとはやく札が取りたい」といった声に呼んでくれたのが、岡崎市のOKリンクの注目サイトにあった「TOSSEランド・五色百人一首を覚えよう」である。上の句が表示され、下の句を制限時間内に選ぶというスリルとゲーム感覚が子どもに受け、どの子も楽しみながら取り組むことができた。なかなか勝てずあきらめ気味だったA男も、何度もチャレンジし得意の札ができた。対戦で自分が覚えた札が取れたときは、ガッツポーズで喜びを表した。

パソコンで百人一首？、なかなか結びつかない取り合わせではあるが、子どもたちには大好評であった。今は、他にも使えるようなサイトはないかと教材研究にいそむ日々である。



「レッツ・トライ」

いきなりPDF

学校のホームページで保護者向けや地域に向けて配布した印刷物などを紹介する場合などに、ワードや一太郎で作った原稿を載せたいときがある。今まで、ワードで作ったデータをホームページ用のHTML形式に書き直す場合、イラストや写真が多いとなかなか思い通りのレイアウトにならず四苦八苦させられることが多かった。

私はそんな時、ソースネクスト社の「いきなりPDF」というソフトウェアを利用している。このPDFという形式は、アドビ社が開発したシステムで、無料配布されているアドビリーダーを利用してパソコン環境の違いを超えて誰にでも閲覧することができる仕組みである。

文章を印刷するときの要領でプリンタの代わりに「いきなりPDF」を選択すると、レイアウトをそのままにデータ量の小さいファイルに変換してくれる。学級通信は、白黒で配るけれども、ホームページからはカラーで見ることができ喜ばれている。ホームページ作成では、かなり負担が軽減されること間違いなしである。アドビ社の「アクロバット」やジャストシステム社の「PDFクリエーター」など他社ソフトも対応している。

(岩津小 学習情報主任 今井 朋晴)

ライブブリーディング

中学校総合体育大会ビデオ完成

五月十五日に開催された中学校総合体育大会の様子を総編集としてビデオにまとめました。県営グラウンドでの入場行進、陸上競技をはじめ、柔道、バレーボール、バスケットボールの一部が記録されています。時間は三十分です。ダビングを希望される学校はライブブリーディングへご連絡下さい。

視聴覚教材制作のお手伝い

ライブブリーディングでは、映像編集や撮影、音声編集や視聴覚教材の貸し出し、カラーコピーなどを利用した素材や作品・教材づくりのお手伝いをしていきます。スタッフに気軽ににご相談下さい。

平成16年度 自作教材テーマの決定

自作教材制作委員会が今年度の作品テーマが決定しました。各班においては取材活動を開始しました。

A班	社会	矢作川と水運
B班	社会	日本の洋蘭をめざして
C班	社会	岡崎の石工業
		〜石にかけるおもい〜
D班	理科	よみがえってきた
		ゲンジボタル
E班	理科	土の中の微生物
F班	英語	Joyful English
		〜to不定詞〜
G班	社会	くらしをささえる水
		(マルチメディア作品)